

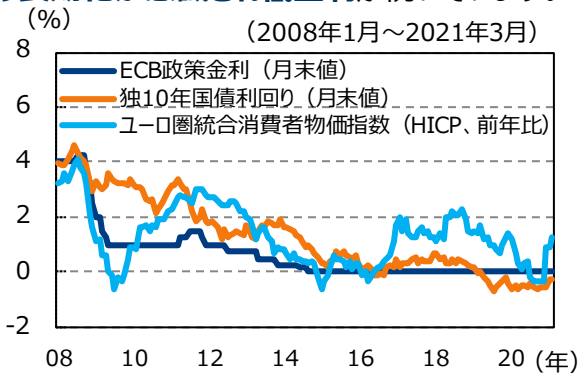
# 欧州マーケットビュー



- ユーロ圏の2020年10-12月期の実質GDP成長率は前期比▲0.7%となりました。個人消費の落ち込みが目立ちましたが、足元では消費者信頼感が改善しています。新型コロナウイルス再拡大への懸念はくすぶってはいるものの、米国の追加経済対策への期待感はユーロ圏にも追い風となっています。
- EU（欧州連合）は財政ルールの適用（財政赤字のGDP比を3%以下にすることなど）を2021年も見送ることを示唆しており、当面は拡張的な財政運営が続くと見込まれます。

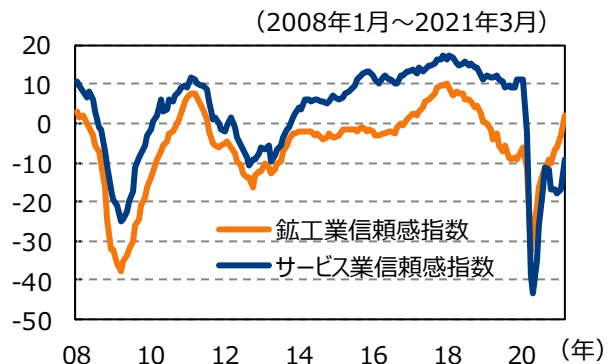
## 金利とインフレ率

ユーロ圏の2021年3月HICPは前年比1.3%と市場予想（1.4%）を下回りました。**金融緩和の長期化が意識され低金利が続いています。**



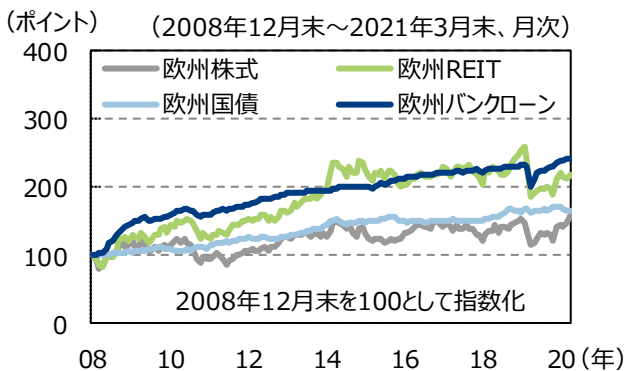
## 企業景況感

ユーロ圏の企業景況感は、**製造業の改善ペース加速に加え、家計の所得見通し改善などを背景にサービス業も上昇しました。**



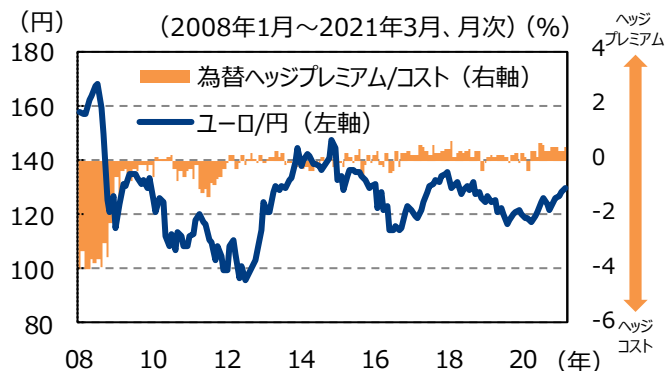
## 欧州各資産の推移

欧州の国債やREITがやや軟調に推移する一方、**欧州バンクローンや欧州株式は堅調に推移しています。**



## ユーロ/円と為替ヘッジプレミアム/コスト

日本円の金利がユーロよりも高い状況から、**ユーロ/円はヘッジプレミアムが生じています。**  
 (2021年3月：0.48%)



(注) 為替ヘッジプレミアム/コストは直物為替レートと期日1ヵ月後の為替予約レートとの価格差（月間平均値）から簡便法により算出。  
 (出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

※使用したインデックス（いずれもユーロベース）  
 欧州株式：ユーロストックス50指数、欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index、欧州国債：FTSE欧州国債インデックス、  
 欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他一切の権利、その発行者および許諾者に帰属します。